

# 会 議 報 告 書

会議名	令和4年度 第1回三島市民生涯学習センター運営委員会議	
日 時	令和4年6月 29 日(水) 午後1時 30 分から3時 30 分まで	
場 所	三島市民生涯学習センター 3階 講義室	
出席者	センター 運営委員	白井委員長、本持委員、朝日委員、亀井委員、碓井委員、岩塚委員、久保田委員
	事務局側	鈴木教育推進部長、若林生涯学習課長、米山図書館長、寺田文化財課長、星谷係長、稲木係長、堤主事
傍聴人	なし(公開会議、傍聴人定員 2 名)	
項 目	趣 旨	
1 挨拶	<p>●<b>教育委員会</b> 鈴木教育推進部長より挨拶</p> <p>●<b>センター運営委員</b> 白井委員長より挨拶</p>	
2 職員紹介	鈴木教育推進部長より職員紹介	
3 議 事 (報告・協議)	<p>(1) <b>令和3年度施設運営報告及び令和4年度施設運営予定について</b> 生涯学習係長より資料に沿って説明</p> <p>(2) <b>令和3年度事業報告及び令和4年度事業予定について</b> 各課より資料に沿って説明</p> <p>(質問)</p> <p>委員 生涯学習課長</p> <p>リカレント教育推進事業に係る夜間施設の提供が6月15日より始まったが、人数はどのくらい集まったのか。 登録者3人。男女比は女性2人、男性1人。延べ3日。 広報みしま7月15日に掲載予定。ホームページには既に掲載済み。チラシも近隣市町、教育機関に配架している。図書館の2階にも自習室があり、大変人気がある。今後タイアップしていく予定。</p> <p>(3) <b>スマート市役所の推進について</b> 生涯学習係長より資料に沿って説明</p> <p>(質問)</p> <p>委員 教育推進部長</p> <p>市長の宣言は難しい。市民全員にどう伝えていくのか。市民と協力し、皆さんに分かりやすく進行していってもらいたい。今後期待している。 先日、部長を対象とした研修会にて、講師の方からは、完全デジタルはしばら</p>	

(続き)	く難しく、紙ベースとデジタルの両面で推進していかなければならないとの話があった。その比率が現在4（デジタル）：6（アナログ）なのかも知れないが、5～20年後、この比率は急激に逆転していくだろう。行政としては世界の潮流に取り残されないよう、可能な限り、スピードを速め、市民の皆様が享受できるよう分かりやすく浸透しやすい講座等も展開していく。誰一人取り残さないよう、意識して取り組んでいく。
委員	やり方と方法、その時その場所に適したものをやることが重要。形で押し付けても必要のないものは覚えなし、実用化されない。何を必要とし、何をしたいのかを理解する。役所はいち早く情報をキャッチし、研究した上で団体に提供し、活用してもらい、そのようなやり方がよいのでは。ノウハウはプロを雇う方が有効的ではないのか。今までの役所のやり方で良いのか疑問。
教育推進部長	三島市役所でも今年から民間の方に来ていただいてアドバイスをもらっている。また、市内のIT系の企業に集まっていたいただき意見もいただいている。民間からの意見や提案を取り入れながら行政としても推進していきたい。
委員	必要にせまられているかではないか。委員会の資料もメールに添付し、送るのはいかがでしょうか。講座を受けるだけでなく、使いながら覚えていただき適切なアドバイスを受けて進めていくのが良いのでは。
委員	便利は人間をダメにする。コロナで人間の本質があぶり出されてきた3年間だった。リモート会議・飲み会からコロナが収束してきて対面でできるようになってきた。必要な人に対しての事業展開でいいのではないかと。
教育推進部長	世の中自体が動いている。ある企業では、基本、仕事は家で行い、出社する場合は出張扱いとなるようだ。このような状況が徐々に広がりつつある。三島市としても国の構想をふまえ進まざるを得ない。苦手な方、アナログの方にも情報が伝わるよう共存させて行っていきたい。
委員	そのような企業は一部なのでは。三島市は学校教育が進んでおり、市民を中心に盛んである。みんなやっているからやらなければいけないという意識が多いのでは。
教育推進部長	民間からの要請でもあり、意見を聴く年齢層が変わると認識は大きく変わってくると思う。行政としては、それらをミックスして推進しなければならない。
委員	デジタルは良いが、全部ではなくて良いのではないかと。文化財はアナログでなくては出来ないものも多い。場面によって考えてほしい。
教育推進部長	デジタル・アナログは当然共存していく。デジタル化により効率化できるところは推進していくという意味。
委員	スマホ講座だが、機種がバラバラで人数を増やせないと話していたが、同一機種だけ20～30名で行うのはどうか。
教育推進部長	今後検討する。
委員	市のホームページに機種と詳細を掲載し、募集したら良いのでは。
委員	生涯学習センターはモノを作る場所ではない。モノを作ることと心を育てることは違う。生涯学習センターとしてスマートとは何なのか意見交換していく必要がある。

委員	マナビスト連合会でスマホ講座を行ったが、QRコードという目的があったので皆さん覚えることができた。何を求めているのか根本を考えることが大事である。
委員	デジタル化は避けられない。コロナのワクチン接種もスマホだけでなく市の広報でも対応していた。一人も取りこぼしがない対応は有難い。
委員	貸室予約はデジタル化されるのか。
教育推進部長	これから導入する。市全体で行うことになったが、予約方法については調整が必要。出来るところから始めていきたい。
<p><b>(4) リカレント教育の推進について</b></p> <p>生涯学習係長より資料に沿って説明</p> <p>(質問)</p>	
委員	年齢層は。
生涯学習係長	現在 40 代、50 代の 3 名。
委員	施設だけ無料なのか。講師も含んでなのか。
生涯学習係長	施設のみであり、ウェブで資格の勉強をされている方を想定している。
教育推進部長	市内近隣市町のリカレント教育に関わっている団体と連携していき、講座については情報をワンストップでお届けできるような体制をつくり、ないものについてはどの機関が担当するか等についても話し合える場を作っていく。
委員	先生に来てもらうと言う使い方はどうか。
教育推進部長	営利目的となってしまうと難しい。
委員	無料なら良いのか。
教育推進部長	良いと思う。
委員	会話は可能か。
教育推進部長	施設を工夫するなかで対応は可能と考える。
委員	自分たちで講師を連れてくる。
委員	謝礼が発生する場合は無理ではないのか。
教育推進部長	当事業と切り離して考えれば良いのではないかと。今回は各自又はセンターのパソコンを使用し、資格取得に向かって独自に勉強していく方々を想定している。
委員	ヨガのレッスンはダメか。
生涯学習係長	想定はあくまで資格取得。また（ヨガインストラクター等の資格をめざす場合にも）実技が伴うものは、オンラインでは難しいと感じる。当事業は机上での学習を想定している。
委員	どの資格を取得したいのかの情報はどこから得るのか。
生涯学習係長	いつ・何の資格を取得するのかを登録申請時に書類に書き自己申告してもらう。
<p><b>(5) その他質疑・応答</b></p>	

<p>委員</p> <p>文化財課長</p> <p>委員</p> <p>文化財課長</p> <p>委員</p> <p>教育推進部長</p> <p>委員</p> <p>教育推進部長</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>(質問)</p> <p>文化財について、山中城跡以外にも向山古墳にも興味を持つ人も多い。特典をつけるなど、クラウドファンディングを更に発信していったらどうか。</p> <p>文化財は維持管理に年間費用がかかる。クラウドファンディングは寄付いただきたいとの思いもあるが、文化財を知ってもらいたい目的もある。ホームページ、SNSにも掲載しているがその他の周知方法を考えていきたい。</p> <p>ホームページと広報の活用ももう少し考えていかないと難しい。全部読んで頭に入れることは厳しいのではないか。</p> <p>周知も一度だけでなく何度も載せる等、今後考えていく。</p> <p>生涯学習センターの事業についても周知する方法を考える必要がある。</p> <p>(一般的に人は)自分が必要とする情報しか記事を見ない。必要な情報を取得するための仕組みが必要。</p> <p>アンケートを取ったことがあるが、100人中80人程度は広報を見ているとの回答があった。しかし、広報への掲載依頼が大変。</p> <p>広報掲載には一定のルールがある。参加したい人は広報を見る。</p> <p>自分の関心のあることは見る。</p> <p>いかに関心を持ってもらうか。そこが難しい。</p>
<p><b>6 報告事項</b></p>	<p>(1) <b>屋上防水改修工事について</b> 生涯学習課事務局より資料に沿って説明</p> <p>(2) <b>屋上緑化の一部転用について</b> 女性青少年係長より資料に沿って説明</p>
<p><b>7 その他</b></p>	<p>生涯学習課事務局より「絵画並び替え」について説明</p> <p>会議終了</p>